

【学校の教育目標】
目指す子どもの姿



よく考え 心豊かに たくましく生き抜く子

【学校の課題】

- ・古くからある家庭と拡大する新興住宅地が混在する中、多様な価値観、教育観に対応する学校教育の充実が求められている。
- ・全国学調の結果では、全体的には、国や県の平均正答率を上回っているものの、「思考力、判断力、表現力等」に弱さがある。

【育成を目指す資質・能力】

日常生活の中で、

- ・生きて働く知識・技能を習得する。
- ・出会った状況を自分事として捉え、思考し、判断し、表現できる力を育成する。
- ・学んだことを生かそうとする態度やよりよく生きる人間性を涵養する。

【県・市の方針】

- ・「自立力」「共生力」「自己実現力」(第3次県教育ビジョン)
- ・未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進(同ビジョン基本方針3)
- ・「誇り」「やさしさ」「活力」のある児童生徒～ひとりひとりが学ぶ喜びを実感～(市小・中学校教育指導の方針)

【学校経営の方針】

子どもに軸足を置く。

【校風】(として醸成)・・・「礼節を重んじ、美しさを求める」

【伝統】(として営む)・・・「気持ちの良いあいさつ」「きれいな学校」「みんななかよし」「美しい歌声」

【視点1】よく考える

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進
- 学習の基盤となる言語能力の育成(教科等横断的な視点から)
 - ・話す姿、聞く姿の系統的な指導
 - 「根拠を基に語る」「仲間の見方や考え方を尊重しながら聞く」
 - ・情報を読み解き、活用して、自分の考えを形成する指導
 - 「目的(課題意識)を明確にした教科授業」「朝学習における短作文」
 - ・語句の量を増し、語彙の質を高め、語感を豊かにする指導の充実
 - 「読書活動」「漢字検定」
 - 研究推進(国語科の指導力向上)
 - ・言語活動の充実を通じた「できたわかった 楽しい 授業」の具現
 - 「深めの発問」「次につながる評価の工夫」
 - 喫緊の課題への対応
 - ・教科の専門性向上(教担制の拡充)
 - ・プログラミング教育の確実な実施
 - ・一人1台タブレットの効果的な活用

【視点2】心豊かに

- 「心のありよう」を問いながら自己理解を図り、他者理解を促す指導の徹底
- 一人一人の思いや願いが大切にされる集団づくり(学年経営、学級経営、委員会活動等)
 - ・行動の背景にある「思い」に気付かせ、価値付け、方向付ける指導
 - ・事実で語り、実績で評価する取組の設定と振り返りの指導の工夫
 - 「学級目標」「ボランティア」「キャンペーン活動」「よいところ見つけ」
 - 道徳・人権教育の推進(道徳科の授業を要とした全教育活動)
 - ・ねうちある生き方への強い憧れを抱かせるとともに、人間の持つ弱さへの共感ができる指導
 - 「心に届く範読」「『○○さんらしさ』かじみ出る発言(や姿の表出)」
 - 教育支援・相談体制の充実
 - ・全ての子どもの困り感や悩みにも、全職員が気付き、見届ける体制構築

【視点3】たくましく生き抜く

- 自身の生活を、自らの意思で切り拓き、質を高めることができる指導と環境の充実
- 美しく整えられた学習環境及び生活環境の整備と充実
 - ・ユニバーサルデザインに基づく教室環境、教材・教具の整備
 - 「些細なことへの心配り、一手間」
 - 自治力、自浄力の向上
 - ・一人一人の役割と責任を明確にした係活動や当番活動等の実施
 - 「やって見せ、言って聞かせてさせて見せ、褒めてやらねば人は動かじ」
 - キャリア教育の推進
 - ・「キャリア・パスポート」を活用した生き方指導の充実
 - 「働くことのねうち」「目指す自分」
 - 健康で安全・安心な学校生活
 - ・体力の向上(運動会、大縄大会等)
 - ・食育、歯科保健教育の充実
 - ・命を守る教育の推進(交通安全教室、防犯教室、命を守る訓練等)

【家庭と地域連携】“チーム鷓二”で協働する。

- ・「手を携えて、共に子どもを育てる」という立場から願いを共有し、家庭、保護者、関係機関や団体等との連携を密にする。(地域講師、危機管理等)
- ・中央中学校区コミュニティ・スクールの取組(「自分のことが好きな中央の子」育成)

【組織と職場環境】“チーム鷓二”で挑む。

- ・子どもの「切なる願い」と「痛み」に寄り添える教師集団→協調を旨とし、いじめ防止対策に全力を尽くすとともに、健全な自尊感情の醸成に努める。
- ・働き方改革の推進→スリム化を断行し、自己研鑽に努める。

【学校経営実施指標】

○実証的なP D C Aサイクルの効果的な運用

※令和元年度→令和4年度「教育シナリオアップ事業」公表会までに達成したい重点項目

指標(「鷓二小学習アンケート」4件法の内、「選択肢1 当てはまる」にのみ着目する。)	令和元年度 ⇄ 全国 ※全国は6年生の数値	令和2年度(肢1+肢2)	令和3年度(肢1+肢2)	令和4年度 目標値 (肢1+肢2計)
学校に行のが楽しくと思う児童の割合	本校 54% ⇄ 54%	本校 55% (88%)	本校 61% (91%)	70% (計 85%→95%) へ
友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを広げ、深めていると思う児童の割合	本校 40% ⇄ 30%	本校 44% (83%)	本校 43% (83%)	60% (計 81%→90%) へ